

がんばってます！

「歌声喫茶奮戦記」

細野孝雄

キーボードひとり演奏のボランティア楽団「歌声メッセンジャー」を主宰して早6年、ライブ累計も 230 回超になったが、発想のビジネスモデルは、学生時代に楽しんだ渋谷や新宿の「歌声喫茶」。店の客に小さな歌詞集を配り、おじさんが奏でるアコーディオンのメロディーに皆が声を合せて楽しく歌う青春時代の思い出を、やろう、きっと自分も、歌っている皆も楽しい筈だ。そして、楽器は数台分の音色とリズムとが一台で奏でられ、音にボリューム感のあるキーボードを選んだが、基本はピアノと同じ。学生時代に真面目に習ったピアノが定年後の今生きている。「歌声喫茶」システムには隠された演奏者側のメリットがある。それは、予め歌詞集を配るので、曲目を限定できる、皆一緒に歌って貰える、歌も覚えて貰える、だから一体感と満足感を得て貰える等等。いつか本物の喫茶店でやってみたいと思っていた。

願うことは叶うもので、幸せは向こうからやって来た。2011年8月2日(火)に太田市鳥山中町の喫茶店「かぜくら」で実現した。この日は所属する上毛水彩画会夏季小品展覧会の初日で、喫茶店の営業時間中にミニコンサートをやってくれと頼まれた。この開催予定記事は上毛新聞や太田タイムス等に載ったので、「喫茶店かぜくら」には「どんな演奏をやるのか？」との問合せが結構あったと店主の話。歌詞集作り・演奏・司会進行・音響等は自分でいつもの通りやれば良いので、一番苦労したのは選曲。そして初めての本当の「歌声喫茶」だから、いとしいあの時代の原点に戻るべしという事で、ロシア民謡(歌謡)主体に夏の定番ハワイアン+α、に落ち着いた。右表は当日のプログラム。

プログラムには大型曲を入れたかったのですが、貧乏絵描き(我々を代弁)と女優の歌「百万本のバラ」、混声合唱の名曲「アムール河の波」の2曲を入れた。楽譜探しと歌詞集作りは順調に思われたが、「アムール河の波」の楽譜だけは東京の丸善や山野楽器まで探したけど入手できず、遂にユーチューブを聴いて楽譜化するはめに。所が悪い事は重なるもので、「アムール河の波」が特に良かったので楽譜が欲しいと客中のギター愛好家が出る始末。やむ得ず我流編曲の楽譜であることを了解の上でコピーをあげたり。

会場はご存知の方もおられようが、良くイベントを行う喫茶店で、当日の客には若干の絵の仲間も居たが、多勢は喫茶店の普通のお客さんで各々400円也のコーヒー等を自腹で飲みながら歌って盛上ってくれていた。私はいつもの調子でも結構真剣に、客の反応を見ながら1時間半の演奏時間を全うし、念願の本物の歌声喫茶デビューを果たした次第。バンザ〜イ！

けど、喜んでばかりいられない、今夏もやるはめに。今年のテーマは何にしようか？。

- 1 百万本のバラ
 - 2 ステンカラーズ
 - 3 ともしび
 - 4 トロイカ
 - 5 カチューシャ
 - 6 アムール河の波
 - 7 山のロザリア
 - 8 北上夜曲
 - 9 浪路はるかに
 - 10 真珠貝の歌
 - 11 サンゴ礁の彼方
 - 12 幸はここに
 - 13 アロハオエ
 - 14 マイウエイ
- アンコール数曲



素敵な美人が目の前で



写真の一番奥が舞台上、演奏中の筆者と歌う客達

会員投稿の協力を有難うございます。現在の未掲載原稿は、三件です。引き続きよろしくお願ひします。